

# 取扱説明書

 RoadQuest

品番：RQ-E817PVF



ご使用前に、本書の「はじめにお読みください」(5～8ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

## 保証書 別紙

このたびは、車載用 フルセグナビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。  
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。(別紙)

①  
はじめに

②  
設置

③  
テレビ

④  
機能

⑤  
設定

⑥  
付録

# もくじ

<b>1. はじめに</b> .....	<b>3</b>	<b>4. 機能</b> .....	<b>37</b>
部品構成一覧 .....	4	micro SD カードについて .....	38
はじめにお読みください .....	5	ナビゲーションの起動 .....	39
正しくお使いいただくために .....	9	音楽の聴き方 .....	39
本機の特長 .....	11	音楽の起動 .....	39
ご使用前に .....	13	機能の説明 .....	40
各部のはたらき .....	14	音楽の再生 / 一時停止 / 停止 .....	41
メインメニュー画面 .....	15	音楽の早送り / 曲送り .....	41
音量調整と設定 .....	16	リピート再生 .....	42
		再生順序 .....	42
<b>2. 設置</b> .....	<b>17</b>	マルチモード .....	43
B-CAS カードの挿入 .....	18	イコライザー .....	43
本機の設置 .....	19	2画面分割 機能の説明 .....	44
設置する前に .....	19	2画面分割 .....	45
前方視界に関して .....	19	マルチモードでナビと音楽を楽しむ .....	45
直前側方視界に関して .....	19	音楽の全画面に戻る .....	46
取り付け方法 .....	20	<b>動画の使い方</b> .....	<b>47</b>
セーフティケーブルの取り付け .....	22	機能の説明 .....	47
背面ロッドアンテナの差し込み .....	23	動画の起動 .....	48
電源の接続 .....	24	映像の再生 / 一時停止 / 停止 .....	48
		映像の早送り / 次の動画に移動 .....	49
		映像を全画面で見る .....	49
<b>3. テレビ</b> .....	<b>25</b>	2画面分割 機能の説明 .....	50
テレビを見るための設定 .....	26	2画面分割 .....	51
テレビを起動 .....	26	マルチモードでナビと音楽を楽しむ .....	51
テレビの機能説明 .....	27		(つづく)
地域チャンネル .....	28		
チャンネルスキャン .....	29		
テレビの使い方 .....	30		
全画面でテレビを見る .....	30		
受信モード自動切り替え .....	31		
番組表を見る .....	31		
中継局サーチ .....	32		
字幕の ON/OFF .....	33		
マルチモード .....	33		
2画面分割機能の説明 .....	34		
2画面分割 .....	35		
マルチモードでナビとテレビの音声を楽しむ .....	35		

①  
はじめに

②  
設置

③  
テレビ

④  
機能

⑤  
システム  
設定

⑥  
付録

# もくじ

写真の使い方	52
機能の説明	52
写真の起動	52
写真の再生	53
次の写真を見る／前の写真を見る	53
スライドショー	54
写真を全画面で見る	54
写真全画面表示機能の説明	55
写真を画面サイズに合わせる	56
<b>A.V 入力</b>	<b>57</b>
AV 入力端子の説明	57
AV 入力	57
AV 入力画面の設定	57
カメラ入力	57
<b>5. 設定</b>	<b>59</b>
設定の説明	60
① TV 設定	61
② 音楽設定	61
③ 動画設定	62
④ 機能設定	62
⑤ 明るさ設定	63
⑥ 環境設定	63
<b>6. 付録</b>	<b>65</b>
お手入れについて	66
故障かな！？	67
仕様	69



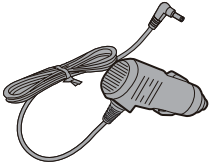
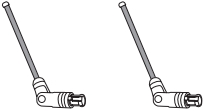

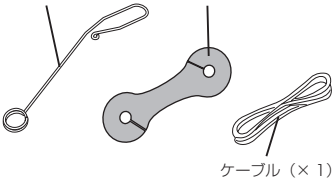
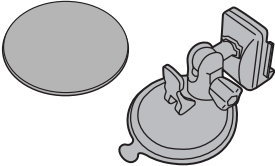

# はじめに

部品構成一覧	4
はじめにお読みください	5
正しくお使いいただくために	9
本機の特長	11
ご使用前に	13
各部のはたらき	14
メインメニュー画面	15
音量調整と設定	16



# 部品構成一覧表

本製品には、次のものが同梱されています。設置・接続の前にご確認ください。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店もしくは、本誌裏面のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

<p><input type="checkbox"/> 本機・・・・・・・・・・ 1個</p> 	<p><input type="checkbox"/> miniB-CAS カード・・・・・・・・ 1枚</p> 
<p><input type="checkbox"/> DC 電源ケーブル・・・・・・・・ 1</p> 	<p><input type="checkbox"/> 背面ロッドアンテナ・・・・・・・・ 2本 (購入時は本体背面に設置済みです。)</p> 
<p><input type="checkbox"/> 吸盤カバー・・・・・・・・ 1個</p> 	<p><input type="checkbox"/> セーフティークーブルセット クリップ (× 1)      調整用フック (× 1)</p>  <p>ケーブル (× 1)</p>
<p><input type="checkbox"/> 吸盤スタンド・・・・・・・・ 1個 (吸盤ベース 1枚付き)</p> 	<p><input type="checkbox"/> 本機取扱説明書・・・・・・・・ 1冊 ナビソフト取扱説明書・・・・ 1冊 保証書・・・・・・・・・・・・・ 1枚</p> 

●付属品の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

# はじめにお読みください

このたびは「RQ-E817PVF」（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機をご利用になる前に、本書をご覧になり、正しくお使いください。本書をお読みになったあとは、いつでも見られるように手元においてお使いください。

本書は次の決まりに従って書かれています。

## ■本書の前提






本書は本機での操作を説明しています。

## ■本書で使用している画面について

本書に使用している画面は開発中のものであり、実際の画面とは異なる場合があります。

## ■安全上のご注意

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。











 <b>警告</b>	「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示します。
 <b>注意</b>	「傷害や物的損害のみの発生が想定される内容」を示します。
	「してはいけない内容」を示します。
	「しなければならない内容」を示します。
	「気をつけていただく内容」を示します。

# はじめにお読みください

安全にお使いいただくために必ずお読みください



## 警告

- |  |  |
|--|--|
| <p> 運転中に操作・画面の注視をしない。<br/>運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。<br/>必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。</p>                       | <p> 本製品を運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置して使用しない。<br/>運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などが破損したりしてケガをするおそれがあります。</p> |
| <p> 同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。<br/>同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。</p>  | <p> 取り付けの際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。<br/>ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本製品やコード等を取り付けると、事故の原因となります。</p>   |
| <p> 画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態、また変なにおいがする・煙が出る・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こった場合は使用しない。<br/>そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。</p>     | <p> 運転者は、走行中にヘッドホンを使用しない。<br/>外部の音が聞こえにくくなり、交通事故を招くおそれがあります。</p>  |
| <p> 故障や異常のまま使用しない。<br/>煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。<br/>直ちに使用を中止してお買い上げの販売店もしくは、本誌裏面のお問い合わせ窓口にご相談ください。</p> | <p> 分解や改造はしない。<br/>内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。<br/>内部の点検・調整・修理は販売店もしくは、本誌裏面のお問い合わせ窓口にご相談ください。</p>   |
| <p> キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。<br/>あやまって、飲み込むおそれがあります。<br/>万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>                   | <p> 大きな音量で使用しない。<br/>車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因となります。</p>  |

# はじめにお読みください

安全にお使いいただくために必ずお読みください

①  
はじめに



警告



雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れない。

感電の原因となります。



取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する。

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。



コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す。

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。



指示に従って正しく配線・取り付けを行う。

説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。



使用しないコードの先端などは、絶縁する。

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。



DC 12V～24Vのマイナスアース車専用です。

上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。



必ず規定容量のヒューズを使用する。

また、交換は専門技術者に依頼する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店もしくは、本誌裏面のお問い合わせ窓口にご相談ください。



車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。



ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規制に従って走行してください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。









ナビゲーション画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。



# はじめにお読みください

安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 注意

 高温になる場所などに取り付けない。 直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。	 強い衝撃を与えない。 落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。
 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない。 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。	 コードをからみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない。 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。
 振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。 傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。	 付属の吸盤スタンドは布生地、革（合成皮革含む）、モケット系、曲面のきつい場所、溝がある面、凹凸が大きい車種には取り付けできません。
 長期間使用しない場合には、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管する。	 林道等の未舗装路や岩場など条件の悪い場所での走行の際、スタンド及び本機の破損や脱落を防ぐ為、一時的にスタンドより本機を取り外してください。

## 本書の表記について

<b>注意</b>	注意マーク 操作するときに注意していただきたいこと、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことを指します。
<b>advice</b>	アドバイス 操作するときの注意点やヒント、便利な使い方を指します。
●● (→●●ページ)	参照していただきたいページを表記しています。 例：取り付け方法 (→ 19 ページ)
つづく→	操作手順が次のページに続く場合を指します。

# 正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機を受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

## 設置について

■次のところには、取り付けないでください。

- ・水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、熱がこもるところ、直射日光のあたるところ。
- ・本機の通気孔をふさがない水平な場所に設置してください。  
逆さや縦向きには設置しないでください。

## 取り扱いについて

- エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用すると、車のバッテリーが消耗します。
- 衝撃を与えないでください。本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因になります。
- 他の機器と接続する場合は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。

## 運転時について

- 運転中に操作・画面の注視をしないでください。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 運転中の本機の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故を招くおそれがあります。
- 本機には交通規制データが収録されていますが、交通規制の変更などにより、実際の標識や交通規制と異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故や道路交通法違反となることがあります。またこの地図に使用している交通規制データは、普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。当該車両をご使用の際は、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

# 正しくお使いいただくために

## 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人の情報管理や消去は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた基本プログラム等変化・消失した場合の補償はできません。
- 万一、本機の不具合により、視聴できなかったり、録画できなかった場合の補償についてはできません。

## 次の点にご留意ください

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・ AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
  - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
  - ・ ライセンスをうけた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA,LLC にお問い合わせください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたが録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- その他、製品名などの固有名詞は特に注記のない場合でも各社の商標または登録商標です。

# 本機の特長

## 地上デジタル放送に対応※

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

※本機は、データ放送には対応していません。

- B-CAS カードを挿入しないと地上デジタル放送は視聴できません。(18 ページ) 地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送 (VHF、UHF) や BS アナログ放送と違い映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。
- 本機は、BS デジタルと 110 度 CS デジタルや、実用化試験放送にて提供している VHF 帯域のデジタルラジオ放送には対応していません。
- 本機は、双方向データサービスに対応していません。

## スタート機能設定 (→ 62 ページ)

電源 ON の際に設定したプログラムから自動起動できます。

また、「前回最終モード」に設定すると、電源オフの直前に動作していたプログラムから自動起動することができます。

## 中継局サーチ機能搭載 (→ 32 ページ)

視聴中に放送が映らなくなったとき、操作しなくても自動で走行エリア付近の放送局をサーチします。

- 走行エリア付近の中継局をサーチして同一放送局がなければ同じ系列の放送局を探します。

## 2画面分割表示 (→ 34 ページ / 44 ページ / 50 ページ)

「ナビ / 地上デジタルテレビ放送」「ナビ / 音楽」「ナビ / 動画」を2画面分割表示で同時に楽しめます。

## 番組表を見る (31 ページ)

今見ている放送局の番組情報が確認できます。

- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。
- ※本機は G ガイドのサービスに対応していません。

## 受信モード自動変換 (31 ページ)

操作をせずにフルセグ⇔ワンセグに切り換えることができます。

(受信モード自動切換機能)

- 受信モードを「自動」に設定すると、電波状態を感知して地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動で切り換え、同じ番組を表示することができます。

※ワンセグでは表示画質が低下します。

※極端に電波状態が悪い所では、ワンセグでも表示できない場合があります。

※番組によっては、フルセグとワンセグで違った放送が行われる場合があります。

# 本機の特長

従来の地上デジタル放送に加え、ワンセグ ※ 1 にも対応しています。

また、地上デジタルテレビ放送 ↔ ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより受信エリアが拡大します。(2008年3月までは、サイマル放送※2が運用されましたが2008年4月からは番組によって異なった放送が行われる場合があります。)

※1: 「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは大きく異なります。本製品はワンセグのデータ放送には対応していません。

※2: サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタルテレビ放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。

1チャンネル (13セグメント)	
地上デジタル放送	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
地上デジタルテレビ放送 (HDTV 放送時)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
ワンセグ	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

- 地上デジタル放送とは、UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三放送域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、双方向データ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
- 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、HDTV 放送時は12セグメントを使用し、ワンセグでは残りの1セグメントを使うため、このように命名されました。

# ご使用前に

まずはじめに、以下の接続と設定を行ってください。

①はじめに

- 1** 本機の設定  
(→ 17～22 ページ)

- 2** B-CAS カードを挿入し、本機の電源を入れる (→ 18 ページ)  
※挿入しないとデジタル放送を視聴することができません。



- 3** 電源の接続。  
(→ 24 ページ)

- 4** エンジンをつける

- 5** テレビを見るための設定  
「地域チャンネル設定」又は「チャンネルスキャン」を行います。  
(→ 27～31 ページ)

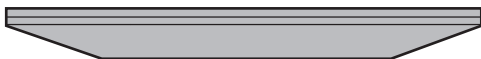
## 注意

「地域チャンネル設定」又は「チャンネルスキャン」を行う際は、受信状態の良い場所で行ってください。

以上で、基本の接続と設定は終了です。  
(→ 25 ページ) からの説明をよくご覧になり放送をお楽しみください。

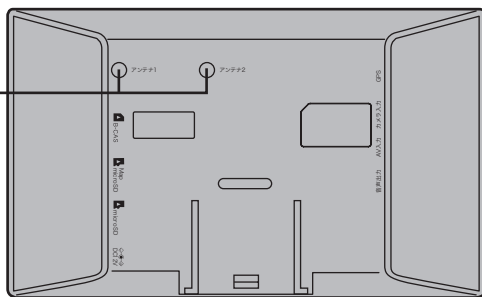
# 各部のはたらき

## 本機上面



## 本機背面

アンテナ端子  
アンテナを接続します。  
(購入時は付属の背面口ッドアンテナ  
が差し込まれています。)  
(→ 23 ページ)



## 本機側面

B-CAS カード挿入口

Map micro SD  
カード挿入口

(本体にセット済み)  
※外すとナビが動作しません。

micro SD カード挿入

市販の micro SD カードを  
挿入するためのスロットで、  
micro SD カードに音楽や動  
画、写真などを保存してご利用  
いただけます。

DC12V-24V 電源

付属の DC 電源ケーブル  
を差し込む端子です。  
※付属の DC 電源ケーブル  
(オプションケーブル  
以外)は使用しないで  
ください。

GPS アンテナ端子  
オプション販売の GPS アンテナを接続

カメラ入力端子  
オプション販売のケーブルを使用して、バックカメラの端子を接続できます。  
※バックカメラ信号を感知すると、自動的に後方画像を映し出します。

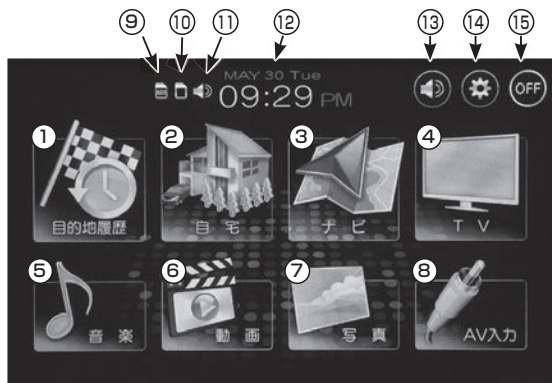
AV 入力端子  
オプション販売のケーブルを使用して、DVD などの機器を接続できます。

音声出力端子  
3 種 3.5mm 径のステレオジャックです。イヤホンをつないで音声を聴いたり、オーディオの AUX(外部入力) 端子に接続できます。  
接続の際は、本機のスピーカーからは音は出ません。  
※ 2 種モノラルイヤホン、4 種ステレオイヤホンでは正常に音声が出力されません。

Wi-Fi ドングル用 USB 端子  
VICS オプションの Wi-Fi ドングル用の USB 端子です。  
※ VICS オプションの Wi-Fi ドングル以外では使用しないでください。

# メインメニュー画面

## メインメニュー画面の説明



### ①目的地履歴

ナビゲーションソフトが起動し、過去の目的地の履歴を確認できます。

### ②自宅

ナビゲーションソフトが起動し、登録済みの自宅にワンタッチでルート案内を行います。

### ③ナビ

ナビゲーションソフトを起動します。  
(→ 39 ページ)

### ④TV

地デジテレビを見ることができます。  
(→ 25 ページ)

### ⑤音楽

SD に保存した音楽を再生できます。  
保存形式 MP3、WAV  
(→ 39 ページ)

### ⑥動画

SD に保存した動画を再生できます。  
保存形式 AVI(MPEG4+MP3)、MP4、MPG  
(→ 47 ページ)

### ⑦写真

SD に保存した写真を見ることができます。  
保存形式 BMP、JPG、PNG  
(→ 52 ページ)

### ⑧ AV 入力

外部機器から音声や映像を入力します。  
オプションの (AV ケーブル) で接続します。  
(→ 57 ページ)

### ⑨ Map micro SD アイコン

Map micro SD を認識するとマークが出ます。  
(マークが出ていない時はナビの使用ができません)

### ⑩ micro SD アイコン

micro SD を認識するとマークが出ます。

### ⑪スピーカーマーク

アイコンにタッチすると音量の ON/OFF ができます。  
×の時は消音です。

### ⑫時計

GPS から正確な時刻情報を受信して表示します。  
※長期間使用しなかった場合は GPS を受信するまで正確な時刻を表示しないことがあります。

### ⑬音量調整

音量の調節ができます。(→ 16 ページ)

### ⑭設定

本機の各種設定ができます。(→ 16 ページ)

### ⑮モニター OFF

モニター画面が OFF になり、画面をタッチすると、画面が ON になります。



# 音量調整と設定

## 音量調整の説明

右上のスピーカマークをタッチすると下記のインデックスがあらわれ、音量の設定が行えます。



**1** システム音量で基本音量の調整ができます。

**2** テレビ・音楽・動画・AV入力のそれぞれの音量を調整できます。

音量を調節したら最後に「確認」を押します。

※左下のスピーカマークをタッチと、消音となります。×が表示されている場合はすべての音が出ません。

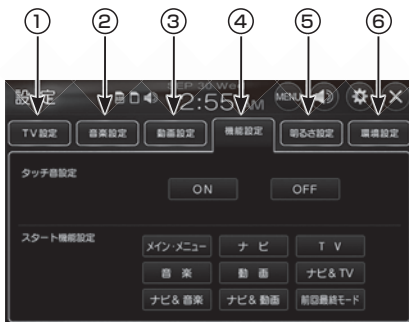
※メニュー画面スピーカマークを押してもシステム音量以外は調整できません。

## advice

- ※システム音量を下げると、タッチ音・ナビ・テレビ・音楽・動画・AV入力の基本音量が下がります。ナビ・テレビ・音楽・動画の音量を最大にしても音が小さい場合は、システム音量を上げてください。
- ※音が出ない場合は、左下のスピーカマークが×になっていないか再度ご確認ください。スピーカマークをタッチと音が出ます。
- ※右上の「×」印をタッチすると画面が閉じます。

## 設定の説明

右上の  をタッチすると下記のインデックスがあらわれ、各種設定が行えます。



**① TV設定**  
テレビの設定をします。(→ 61 ページ)

**② 音楽設定**  
音楽の設定をします。(→ 61 ページ)

**③ 動画設定**  
動画の設定をします。(→ 62 ページ)

**④ 機能設定**  
タッチ音の ON/OFF、スタート機能の設定をします。(→ 62 ページ)

**⑤ 明るさ設定**  
画面の明るさの設定をします。(→ 63 ページ)

**⑥ 環境設定**  
初期化、タッチ修正、アップデートの設定とサポートリンクへのアクセス。(→ 63 ページ)

# 設置

B-CAS カードの挿入 .....	18
本機の設置 .....	19
設置する前に .....	19
前方視界に関して .....	19
直前側方視界に関して .....	19
取り付け方法 .....	20
セーフティケーブルの取り付け方法 .....	22
背面ロッドアンテナの差し込み .....	23
電源の接続 .....	24

# 2

# B-CAS カードの挿入

## ご注意

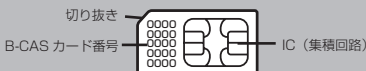
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために B-CAS カードが必要です。



## B-CAS カード (添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



B-CAS カードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

- B-CAS カード取り扱い上の留意点
  - ・ 折り曲げたり、変形させない。
  - ・ 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
  - ・ 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
  - ・ IC (集積回路) 部には手を触れない。
  - ・ 分解加工は行わない。
  - ・ BS/110度 CS デジタル放送対応受信機には使用しない。

(同封の B-CAS カードは地上デジタル専用です。)

- B-CAS カードについてのお問い合わせは  
 (株)ピーエス・コンディショナルアクセス  
 システムズ カスタマーセンター  
 TEL 0570-000-250  
 (IP 電話) 045-680-2868

- B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 電源 ON 時は抜き差ししないでください。視聴ができなくなる場合があります。
- B-CAS カードには、IC (集積回路) が組み込まれているため、異常がないとき以外は抜き差ししないでください。

## ご注意

カードの不具合と確認された場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスにお問い合わせください。カード交換を行った際に発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

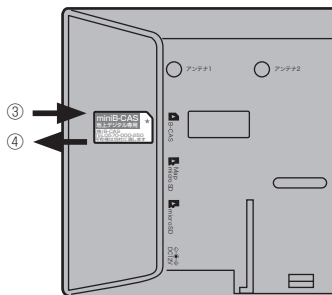
## 入れ方、取り出し方

### 入れ方

- ① エンジン进行を切り、ACC オフにする。
- ② B-CAS カードを IC 部を本機前面に、切り欠きがある方を奥にして、カチッと音がするまで確実に挿入する。

### 取り出し方

- ③ B-CAS カードを奥に押しします。
- ④ カードが少し飛び出しますのでそのまま引き抜いてください。



# 本機の設置

## 設置する前に

ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意

●前方視界、直前側方視界を妨げる箇所に設置しないでください。

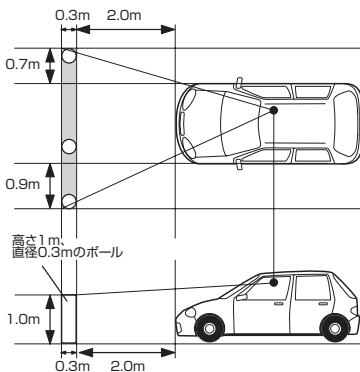
●エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。

国土交通省の定める保安基準※に適合されるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」（下記）に従って設置してください。

※保安基準とは、昭和26年7月28日施行 運輸省令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準を言います。

## 前方視界に関して

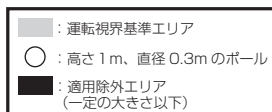
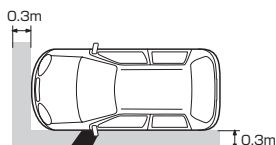
●運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



※上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

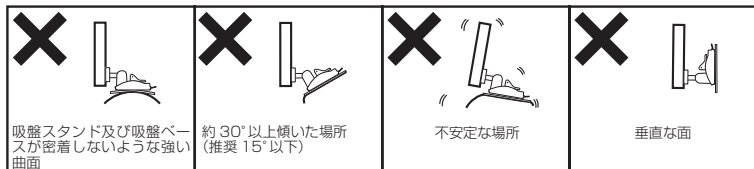
## 直前側方視界に関して

●運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーで確認できるように取り付けてください。



必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。

下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。



前面ガラスおよび側面ガラス（運転者席の左右）への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

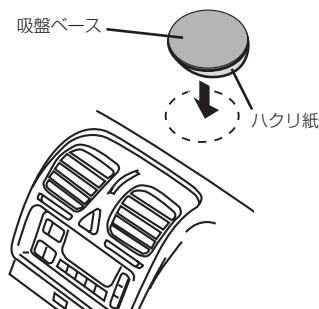
# 本機の設定

## 取り付け方法

### 1 設置位置の確保

- 取り付ける際は、付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。また、付属の「吸盤ベース」は粘着テープでの貼り付けが必要になるため、布生地、本革（合成皮革含む）、極端に目の粗いシボ面、塗装面、曲面、凹凸が大きい車種には取り付けできません。
- 本製品「吸盤ベース」の貼り付け面は、曲面ではない直径約 9.5cm の貼り付け面が必要です。あらかじめ貼り付け場所をご確認ください。
- お車の貼り付け場所のワックス、油、汚れ等を、中性洗剤等で落としてください。取り付け場所が乾燥した後、以下の手順でお取り付けください。
- ※ 10℃以下の低温時には十分な粘着テープの粘着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。
- ※ 「吸盤ベース」を貼り付けた後は粘着テープの粘着力を得るため、24 時間放置してからご使用ください。
- ※ 取り付ける車種、ダッシュボードの材質・色などによっては、取り外した際に取り付け跡が目立つ場合がありますので、予めご了承ください。

吸盤ベースの取り付け。

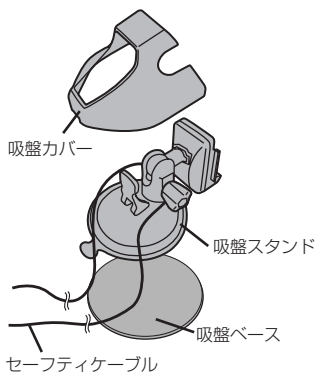


#### ※注意

吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対にお止めください。

### 2 吸盤スタンドを取り付けます。

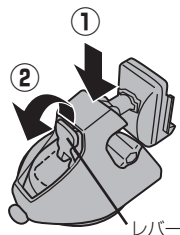
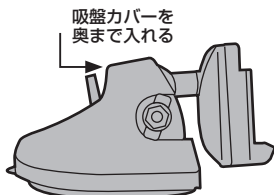
- 吸盤スタンド底面に吸盤保護フィルムが貼り付いていますので、はがしてください。
- 貼り付けした吸盤ベースの上に吸盤スタンドを吸着させてください。
- 22 ページの「セーフティケーブルの取り付け方法」に従ってセーフティケーブルを取り付けします。
- 吸盤カバーを吸盤スタンドの上に被せてください。



# 本機の設定

## 3 吸盤スタンドをロックします。

- ①吸盤スタンドをしっかりとダッシュボード面に押し付けます。
- ②レバーを押し下げて、ロックしてください。



本機の固定をします。

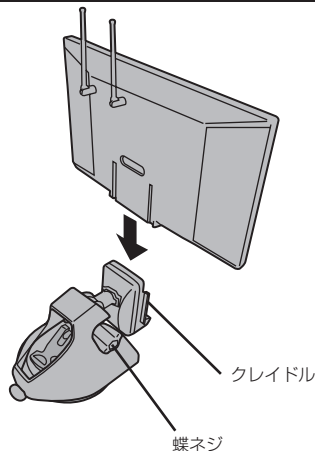
② 設置

### ※注意

レバーをロックする際には指などを挟まないように、ご注意ください。  
カバー・スタンドがしっかりと固定されているかご確認ください。

## 4 クレイドルに本機をセットします。

- クレイドルに本機を固定します。本機底面のレールとクレイドルのレールを合わせて、しっかりと下までめ込んでください。
- 見やすい位置になるように蝶ねじを緩め角度調整をしてください。




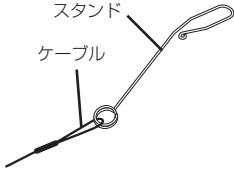
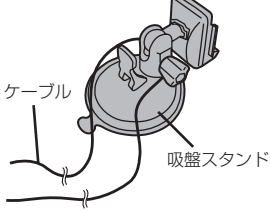
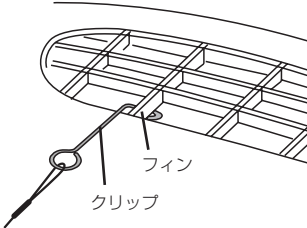
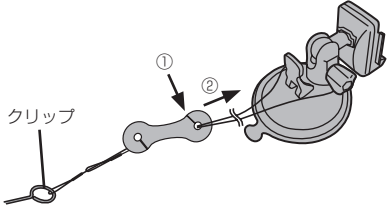
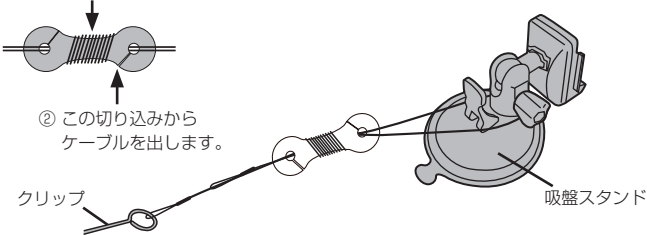
### ※注意

スタンドを軽く前後・左右に力を加えて、しっかりと固定されているかご確認ください。

# 本機の設定

## セーフティケーブルの取り付け方法

※万が一の脱落を防止するため、付属のセーフティケーブルをご使用ください。

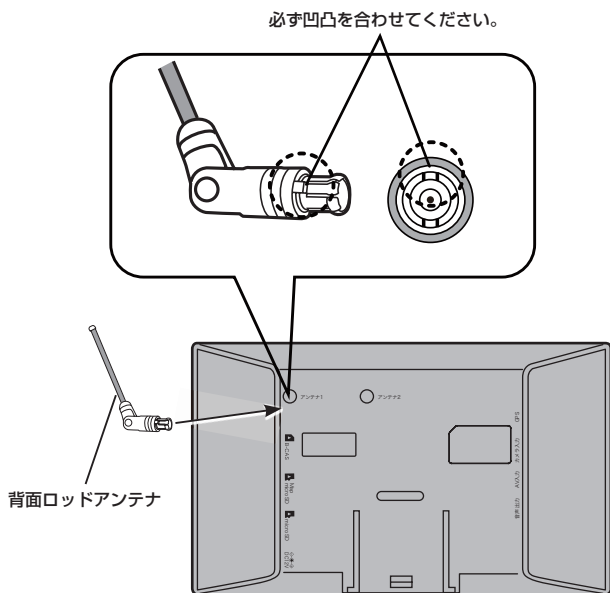
<p><b>1</b> ケーブルを輪に通します。</p> 	<p><b>2</b> クリップにケーブルの輪を取り付けます。</p> <p>スタンド ケーブル</p> 	<p><b>3</b> 吸盤スタンドのアームにケーブルを通してください。</p> <p>ケーブル 吸盤スタンド</p> 
<p><b>4</b> フロントガラス下のエアコン吹き出し口にクリップの先端を挿入してフィンに引っかけてください。</p> <p>フィン クリップ</p> 	<p><b>5</b> ケーブルを図のようにフックのミゾに通してください。</p> <p>① この切り込みからケーブルを出します。 ② ケーブルを引いて、長さの調節をします。</p> <p>クリップ</p> 	
<p><b>6</b> 2本のケーブルをフックに巻くことで長さの調節をします。</p> <p>① ケーブルを巻いてください。</p> <p>② この切り込みからケーブルを出します。</p> <p>クリップ 吸盤スタンド</p> 		

# 背面ロッドアンテナの差し込み

## アンテナついて

背面ロッドアンテナは購入時は差し込まれています。  
背面ロッドアンテナの根元を持って引き抜くと本体から外れますが、再度差しこむ際には注意が必要です。

差し込む際は、必ず背面ロッドアンテナの凸とアンテナ接続端子凹がかみ合うように慎重に差し込んでください。  
しっかりとかみ合うとカチッと音がします。



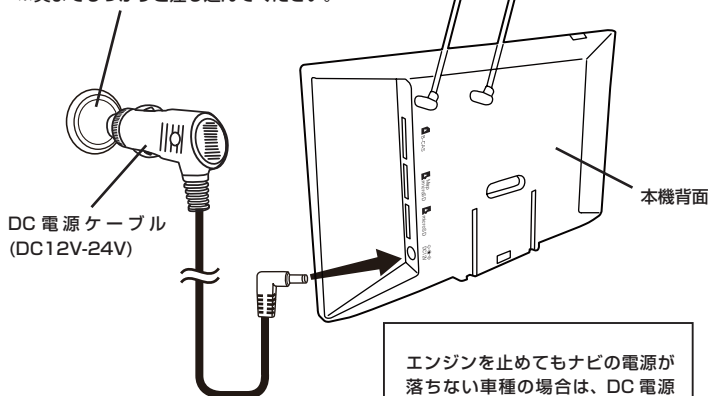


# 電源の接続

## 電源ケーブルの接続

アクセサリソケット

※奥までしっかりと差し込んでください。



エンジンを止めてもナビの電源が落ちない車種の場合は、DC 電源ケーブルをアクセサリソケットから必ず抜いてください。

**警告** 運転中は絶対に操作しないでください。事故の原因になります。

**注意** 定期的に電源プラグ先端のゆるみやゆめけなど、異常がないか確認してください。

**!** 電源プラグ先端の緩みや異物の付着があると、接触不良により発熱し、火災や故障、車輛側のヒューズの断線などの原因になります。

### お願い

- 電源コードは、その他の配線を完了し接続を確認したあとに配線してください。
  - コードは高温・高熱部や金属部との接触を避け、市販のコードクランパーやテープで固定してください。
  - ノイズ防止のため、DC 電源ケーブル（付属）はテレビ本機や他のコード類からできるだけ離してください。
- また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。受信不良や映像、音声にノイズが入る原因になります。

# テレビ

テレビを見るための設定	26	テレビの使い方	30
テレビを起動	26	全画面でテレビを見る	30
テレビの機能説明	27	受信モード自動切り替え	31
地域チャンネル	28	番組表を見る	31
チャンネルスキャン	29	中継局サーチ	32
		字幕の ON/OFF	33
		マルチモード	33
		2画面分割機能の説明	34
		2画面分割	35
		マルチモードでナビとテレビの音声を楽しむ	35

# 3

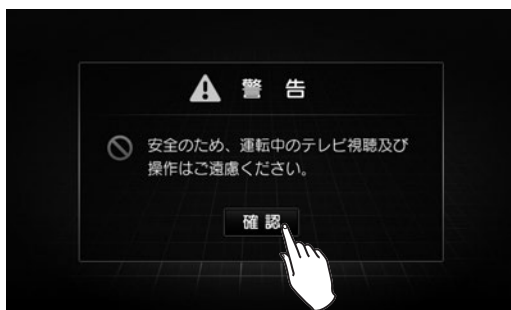
# テレビを見るための設定

## テレビを起動

- 1 メインメニュー画面から「TV」をタッチします。



- 2 「確認」をタッチしてテレビ視聴画面へ進みます。

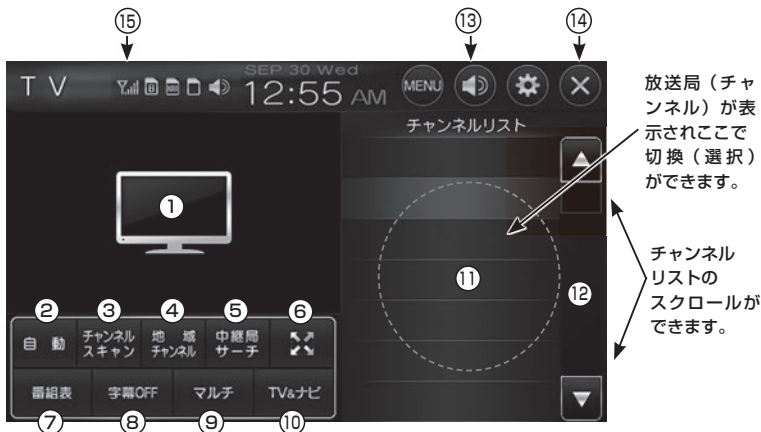


### ⚠ 注意

安全のため、運転中の運転者によるテレビ視聴及び操作は絶対に行わないでください。事故の原因となります。

# テレビを見るための設定

## テレビの機能説明



### ① TV 画面

テレビの画面が映ります。

### ② 受信モード「自動 / ワンセグ」切り替え

テレビの画面が映ります。

### ③ チャンネルスキャン

受信可能なチャンネルを自動でスキャンします。

### ④ 地域チャンネル

地域別の受信可能なチャンネルをスキャンします。

### ⑤ 中継局サーチ

走行しているエリアで視聴していた放送局の中継局をサーチします。

### ⑥ TV 全画面

TV 画面を全画面で表示します。

### ⑦ 番組表

選択された放送局の番組表が見れます。

### ⑧ 字幕 ON/OFF

字幕放送の ON/OFF を選択します。

### ⑨ マルチ

テレビの画面が閉じて、テレビの音声のみが聞こえます。  
(音楽、動画、写真、AV 入力との同時使用はできません。)

### ⑩ TV & ナビ

テレビとナビの 2 画面表示をします。

### ⑪ チャンネルリスト表示

スキャンしたチャンネルリストが表示されます。

### ⑫ スクロール

チャンネルリストをスクロールします。

### ⑬ 音量スイッチ

音量の調節をします。

### ⑭ テレビ終了

テレビを終了します。

### ⑮ アンテナ感度

アンテナの感度を表します。

※チャンネルスキャン後でないとは感度は×のままです。

# テレビを見るための設定

## 地域チャンネル

本機を主に使用する地域の設定と、地域の放送局のスキャンを行います。

1 「地域チャンネル」をタッチします。



2 現在の都道府県と地域をタッチします。



3 「地域選択決定」にタッチします。



4 チャンネルの検索を行います。  
スキャンが完了するとスキャンした番組数が表示されます。  
リストの中の見たい放送局をタッチします。



## 注意

「地域チャンネル」設定を行う際は、受信のしやすい場所を選んで行ってください。

# テレビを見るための設定

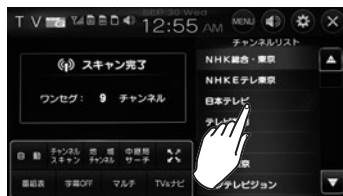
## チャンネルスキャン

現在受信できるチャンネルをすべてスキャンして一覧で表示します。

1 「チャンネルスキャン」をタッチします。



2 チャンネルの検索を行います。  
スキャンが完了するとスキャンした番組数が表示されます。  
リストの中の見たい放送局をタッチします。



## 注意

「チャンネルスキャン」を行う際は、受信のしやすい場所を選んで行ってください。

# テレビの使い方

## 全画面でテレビを見る

- 1** テレビの映像が映っている箇所をタッチすると全画面で映像を見ることができます。



- 2** 下記のような全画面になり、右上のチャンネル情報約 5 秒ほどで自動で消えます。



- 3** 画面中央部をもう一度タッチすれば、全画面を解除でき、**1** の画面に戻ります。




- 4** 全画面の状態では画面の右か左をタッチすると左右の「矢印」が出て、矢印をタッチすると次のチャンネルに切替えます。



- 5** 全画面の状態では画面の右上をタッチすると「チャンネル情報」が現れます。再度「チャンネル情報」をタッチするとチャンネル情報が消えます。



### advice

-  のアイコンをタッチしても全画面表示できません。

# テレビの使い方

## 受信モード自動切換

受信モードの切換をします。

- 1 「自動」の時はフルセグ・ワンセグを受信感度に合わせて自動切換します。



- 2 「ワンセグ」の時はワンセグ固定となります。



### advice

- ※電波が不安定な地域でフルセグ⇄ワンセグが頻繁に切り換わって見にくい場合はワンセグに固定してごらんください。
- ※放送時間によっては、フルセグとワンセグの番組が違ふことがあります。

### advice

- 受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、そのチャンネルを1回視聴してから、もう一度番組表を表示してください。(受信するのに数分かかることがあります)
- また、左下の「更新」ボタンをタッチすると内容が更新されます。

## 番組表を見る

- 1 番組表を表示します。番組を見ているときに「番組表」をタッチします。



- 2 番組表が表示されます。
  - 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに約1分程かかる場合があります。右上の「X」で見ていた番組に戻ります。



## 番組表のみかた

放送予定日 放送時間 番組名



- 過去の番組は表示できません。
- 未視聴のチャンネルは表示できません。
- エンジンを切り、本機に電源が供給されなくなると、受信した番組表は消去されます。

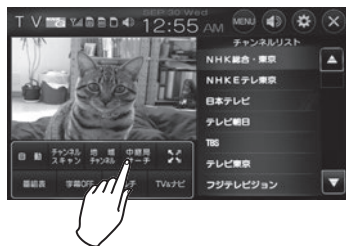


# テレビの使い方

## 中継局サーチ

視聴中に放送が映らなくなったとき、操作しなくても自動で走行エリア付近の中継局をサーチします。

- 1 テレビ視聴画面で「中継局サーチ」をタッチします。



- 2 「中継局サーチ」が青く光ります。中継局サーチの待機モードとなります。



青く光ります

- 3 移動中に電波が弱くなり、「受信感度：微弱」状態が約50秒ほど続くと、画面が「中継局サーチ中」となり中継局のサーチが開始されます。



- 4 中継局を見つけると、サーチした放送局の映像を流します。



また、「中継局サーチ中」が長く続くと下記のようなメッセージが現れます。この場合、受信できる中継局がないか、電波が弱い状態です。チャンネルスキャンを行ってください。受信可能なチャンネルをスキャンします。



- 5 中継局サーチを解除したい場合、青く光った「中継局サーチ」をタッチすれば中継局サーチはOFFとなります。



## advice

※トンネルや山間部などが多い地域ではサーチが頻繁に動作する場合があります。この場合、テレビが映らなくなる時間が長くなるため「OFF」に設定することをおすすめします。

# テレビの使い方

## 字幕の ON/OFF

「字幕 OFF」をタッチして「字幕 ON」にすると字幕の表示が出ます。

「字幕 OFF」で字幕が消えます。



### advice

※番組または放送局によっては字幕が出ない場合があります。また、放送によって字幕が表示される位置が異なる場合があります。

## マルチモード

「マルチ」をタッチすると、テレビの音声が流れたまま、テレビ画面が閉じます。

1 「マルチ」をタッチします。



2 音声が流れた状態でメインメニュー画面になります。マルチモードを解除したい時は「TV」をタッチします。



3 右上の「×」をタッチしてテレビを終了します。



### advice

※「ナビ」「メインメニュー」「設定」のみ対応しています。その他のアプリケーションを起動すると「テレビ」が終了します。

# テレビの使い方

## 2画面分割（テレビとナビを同時に表示する）機能の説明



### ① TV 画面

テレビの画面が映ります。

### ② 受信モード「自動 / ワンセグ」切り替え

フルセグ、ワンセグ自動かワンセグ固定を選択します。

### ③ チャンネルスキャン

受信可能なチャンネルを自動でスキャンします。

### ④ 中継局サーチ

視聴中に放送が映らなくなったとき、操作しなくても自動で走行エリア付近の中継局をサーチします。

### ⑤ マルチ

TV の画面が閉じて、TV の音声のみが聞こえます。(TV、動画、写真、AV 入力との同時使用はできません。)

### ⑥ TV 全画面

テレビのコントロール画面を全画面で表示します。

### ⑦ チャンネル切替

前のチャンネルに切替えます。

### ⑧ チャンネル表示

放送局名を表示します。

### ⑨ チャンネル切替

次のチャンネルに切替えます。

### ⑩ ナビ画面

ナビの画面が映ります。

### ⑪ 全画面表示ボタン

ナビが全画面表示になり、バックで TV の音声流れれます。

# テレビの使い方

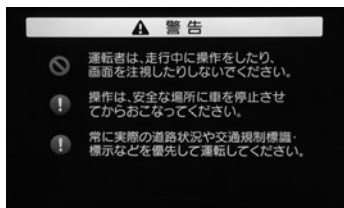
## 2画面分割（テレビとナビを同時に表示する）

「テレビ」と「ナビ」を二画面で表示します。

1 「TV & ナビ」をタッチします。



2 ナビソフトが起動します。



3 テレビとナビが2画面分割で同時表示されます。



## マルチモードでナビとテレビの音声を楽しむ

ナビを全画面表示にして、テレビの音声のみをお楽しみいただけます。

※ナビの音声案内時は音声ミュートになります。

1 ナビの「全画面表示ボタン」をタッチします。



2 ナビが全画面表示になり、バックでTVの音声が流れます。



## advice

「マルチ」をタッチしても同じ動作を行うことができます。



ナビ全画面から2画面分割に戻る説明は付属の「地図ソフト取扱説明書」をご覧ください。



# 機能

micro SD カードについて … 38	動画の使い方 …………… 47
ナビゲーションの起動 ……… 39	機能の説明 …………… 47
音楽の聴き方 …………… 39	動画の起動 …………… 48
音楽の起動 …………… 39	映像の再生 / 一時停止 / 停止 …… 48
機能の説明 …………… 40	映像の早送り / 次の動画に移動 … 49
音楽の再生 / 一時停止 / 停止 …… 41	映像を全画面で見る …………… 49
音楽の早送り / 曲送り ……… 41	2画面分割 機能の説明 …… 50
リピート再生 …………… 42	2画面分割 …………… 51
再生順序 …………… 42	マルチモードでナビと音楽を楽しむ … 51
マルチモード …………… 43	写真の使い方 …………… 52
イコライザー …………… 43	機能の説明 …………… 52
2画面分割 機能の説明 …… 44	写真の起動 …………… 52
2画面分割 …………… 45	写真の再生 …………… 53
マルチモードでナビと音楽を楽しむ … 45	次の写真を見る / 前の写真を見る …… 53
音楽の全画面に戻る ……… 46	スライドショー …………… 54
	写真を全画面で見る …………… 54
	写真全画面表示機能の説明 …… 55
	写真を画面サイズに合わせる …… 56
	AV入力 …………… 57
	AV入力端子の説明 ……… 57
	AV入力 …………… 57
	AV入力画面の設定 ……… 57
	カメラ入力 …………… 57

# 4

# micro SD カードについて

## micro SD カードの準備

micro SD カード（別売り）に音楽 / 動画 / 写真ファイルを入れて、本機に挿入すると再生できます。

下記再生フォーマットを再生できます。

### 【音楽】

MP3 / WAV

### 【動画】

AVI(MPEG4 + MP3)

MP4 / MPG

### 【写真】

BMP / JPG / PNG

※ 2MB 以上の写真データは、読み込みに著しく時間がかかります。

対応メディア

**micro SD カード：SDHC タイプ対応  
(32GB まで)**

※ micro SD カードに保存されたデータによって読み込みに時間がかかる場合がございます。

※ 大切なデータは必ずバックアップを取ってください。万一登録された情報内容が消去・破損されてしまうことがあっても、当社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SDXC カードはご使用になれません。

※ AVI ファイルの場合、映像はサポートしますが、音声は音声コーデック (Dolby Digital, AC-3: Audio Code number 3) をサポートしないため、再生できません。

## micro SD カードの挿入

**1** micro SD カード（別売り）に「音楽」「動画」「写真」のデータを入れて本機側面の micro SD カード挿入口に挿入してください。

micro SD カード挿入口 (→ 14 ページ)

※ 下記の説明は音楽を選択した時の画面です。

**2** 再生リストに再生可能な音楽ファイルが表示されます。



## 注意

※ データ読み込み中に micro SD カードを取り出さないでください。データが破損する場合がございます。

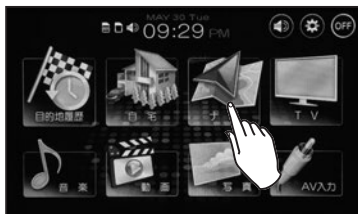
※ 大切なデータはバックアップを取ってください。

万一登録された情報内容が消去されてしまうことがあっても、当社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

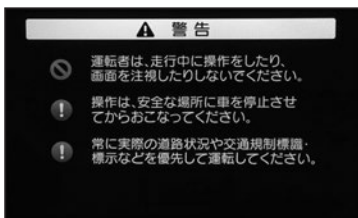
# ナビゲーションの起動／音楽の聴き方

## ナビゲーションの起動

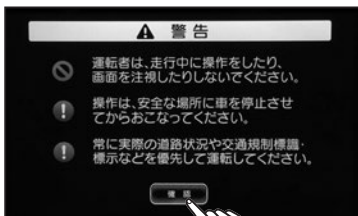
- 1 メインメニュー画面で「ナビ」を起動します。



- 2 起動中 (ローディング...)

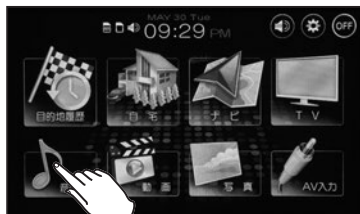


- 3 ご使用前には必ず警告内容をお読みください。読み終わったら「確認」をタッチしてください。



## 音楽の起動

- 1 メインメニュー画面で「音楽」を起動します。



- 2 起動して、自動的に再生します。



- 4 ナビゲーションの詳しい説明は、付属の「地図ソフト取扱説明書」をご覧ください。

## advice

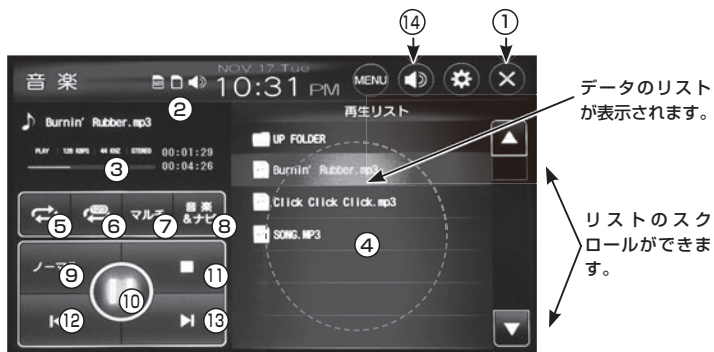
ナビの音量を調整する場合はシステム音量(→16ページ)かナビの音量調整で調整してください。

警告画面表示設定を「しない」することで左の警告画面を消すことが出来ます。(→61ページ)



# 音楽の聴き方

## 機能の説明



### ① 音楽終了

音楽を終了します。

### ② 音楽タイトル表示

再生している音楽のタイトルを表示します。

### ③ トラックバー

進行時間や総合時間を表示します。

### ④ 再生リスト

データのリストが表示されます。

### ⑤ リピート再生

「1 曲リピート」「全曲リピート」「リピート無し」からリピート再生方法を選択できます。

### ⑥ 再生順序

「通常再生」「ランダム再生」から再生順序を選択できます。

### ⑦ マルチ

他の画面でも音楽の音声のみを楽しめます。

※「ナビ」「メインメニュー」「画面設定」のみ対応しています。その他のアプリケーションを起動すると音楽が止まります。

### ⑧ 音楽&ナビ

「音楽」と「ナビ」を二画面で表示します。

### ⑨ イコライザー

「ノーマル」「クラシック」「ポップ」「ロック」「ジャズ」の5種類のモードから音質を選択できます。

### ⑩ 再生 / 一時停止

再生中もう一度タッチすると、一時停止します。

### ⑪ 停止

音楽を停止します。

### ⑫ 前曲に移動

1 度タッチすることにより 1 曲ずつ前の曲に戻ります。

### ⑬ 次曲に移動

1 度タッチすることにより 1 曲ずつ次の曲に進みます。

### ⑭ 音量スイッチ

音量の調節をします。

# 音楽の聴き方

## 音楽の再生 / 一時停止 / 停止

- 1 「聞きたい音楽」を再生リストからタッチします。



- 2 音楽がスタートします。  
一時停止をしたいときは「一時停止」をタッチしてください。



- 3 音楽を停止したい場合は「停止」をタッチしてください。



## 音楽の早送り / 曲送り

- 1 トラックバーの右をタッチすると音楽を早送りすることができます。  
※戻りたい場合は左にタッチしてください。



- 2 「次曲に移動」をタッチすると次の曲に進みます。



- 3 「前曲に移動」をタッチすると前の曲に戻ります。



# 音楽の聴き方

## リピート再生

「1曲リピート」「全曲リピート」「リピートなし」からリピート再生方法を選択できます。

「リピート再生」を数回タッチして選びたいモードを選択します。



## 再生順序

「通常再生」「ランダム再生」から再生順序を選択できます。

「再生順序」を数回タッチして選びたいモードを選択します。



### 【1曲リピート】

1曲をリピートします。



### 【全曲リピート】

SDカードに入っている全ての音楽をリピートします。



### 【リピートなし】

1曲再生すると止まります。



### 【通常再生】

再生リストの上から順番に再生します。



### 【ランダム再生】

ランダムに再生します。

# 音楽の聴き方

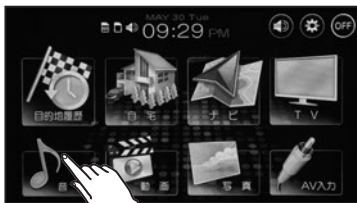
## マルチモード

「マルチ」をタッチすると、音楽が再生出力されたまま、音楽画面が閉じます。

1 「マルチ」をタッチします。



2 音楽が再生された状態でメインメニュー画面になります。マルチモードを解除したい時は「音楽」をタッチします。



3 「停止」をタッチして音楽を止めます。



### advice

※「ナビ」「メインメニュー」「画面設定」のみ対応しています。その他のアプリケーションを起動すると「音楽」が終了します。

## イコライザー

「ノーマル」「クラシック」「ポップ」「ロック」「ジャズ」の5種類のモードから音質を選択できます。

「イコライザー」を数回タッチして選びたいモードを選択します。



# 音楽の聴き方

## 2画面分割（音楽とナビを同時に表示する）機能の説明



### ①音楽終了

音楽を終了します。

### ②音楽タイトル表示

再生している音楽のタイトルを表示します。

### ③トラックバー

進行時間や総合時間を表示します。

### ④リピート再生

「1曲リピート」「全曲リピート」「リピート無し」からリピート再生方法を選択できます。

### ⑤再生順序

「通常再生」「ランダム再生」から再生順序を選択できます。

### ⑥マルチ

他の画面でも音楽の音声のみを楽しめます。

※「ナビ」「メインメニュー」「画面設定」のみ対応しています。その他のアプリケーションを起動すると音楽が止まります。

### ⑦音楽全画面

音楽を全画面で表示します。

### ⑧イコライザー

「ノーマル」「クラシック」「ポップ」「ロック」「ジャズ」の5種類のモードから音質を選択できます。

### ⑨停止

音楽を停止します。

### ⑩再生/一時停止

再生中タッチすると、一時停止します。

### ⑪前曲に移動

前の曲に戻ります。

### ⑫次曲に移動

次の曲に進みます。

### ⑬音量スイッチ

音量の調節をします。

### ⑭リスト表示

曲のリストを表示します。

### ⑮ナビ画面

ナビの画面が映ります。

### ⑯全画面表示ボタン

音楽が再生出力されたまま、ナビが全画面表示になります。

# 音楽の聴き方

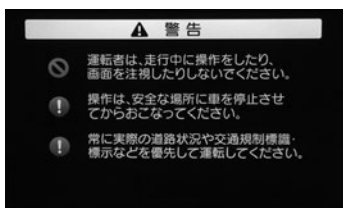
## 2画面分割（音楽とナビを同時に表示する）

「音楽」と「ナビ」を二画面で表示します。

1 「音楽&ナビ」をタッチします。



2 ナビソフトが起動します。



3 ナビソフトが起動し、音楽とナビが2画面分割で同時表示されます。



## マルチモードでナビと音楽を楽しむ

ナビを全画面表示にして、音楽の音声のみをお楽しみいただけます。

※ナビの音声案内時は音楽がミュートになります。

1 ナビの「全画面表示ボタン」をタッチします。



2 ナビが全画面表示になり、バックで音楽が流れます。



## advice

「マルチ」をタッチすることでも同じ動作を行うことができます。



ナビ全画面から2画面分割に戻る説明は付属の「地図ソフト取扱説明書」をご覧ください。

# 音楽の聴き方

音楽の全画面に戻る

1 「全画面」をタッチします。

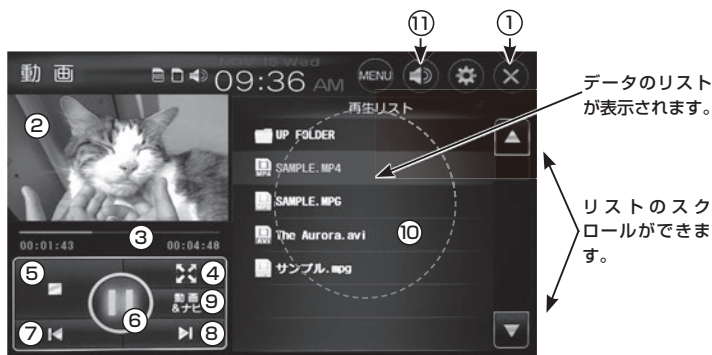


2 音楽が全画面で表示されます。



# 動画の使い方

## 機能の説明



### ① 動画終了

動画の再生を終了します。

### ② 動画画面

動画の画面が映ります。

### ③ トラックバー

進行時間や総合時間を表示します。

### ④ 全画面

動画が全画面で表示されます。

### ⑥ 停止

動画の再生を停止します。

### ⑥ 再生 / 一時停止

再生中もう一度タッチすると、一時停止します。

### ⑦ 前の動画に移動

1度タッチすることにより1つずつ前の動画に戻ります。

### ⑧ 次の動画に移動

1度タッチすることにより1つずつ次の動画に進みます。

### ⑨ 動画&ナビ

「動画」と「ナビ」を2画面で表示。

### ⑩ 再生リスト

データのリストが表示されます。

### ⑪ 音量スイッチ

音量の調節をします。



# 動画の使い方

## 動画の起動

- 1 メインメニュー画面で「動画」を起動します。



- 2 起動して自動的に再生します。



## 映像の再生 / 一時停止 / 停止

- 1 「見たい映像」を再生リストからタッチします。



- 2 映像がスタートします。一時停止をしたいときは「一時停止」をタッチしてください。



- 3 映像を停止したい場合は「停止」をタッチしてください。



# 動画の使い方

## 映像の早送り / 次の動画に移動

- 1 トラックバーの**右をタッチ**すると映像を早送りすることができます。  
※戻りたい場合は**左にタッチ**してください。



- 2 「**次の動画に移動**」をタッチすると次の動画に進みます。



- 3 「**前の動画に移動**」をタッチすると前の動画に戻ります。

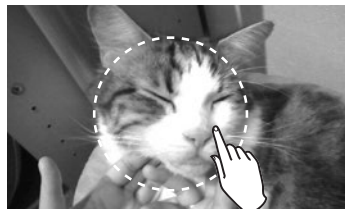


## 映像を全画面で見る

- 1 「**動画画面**」をタッチします。



- 2 全画面になった後、「**画面中央部**」をもう一度タッチすれば、全画面を解除できます。



- 3 解除されました。



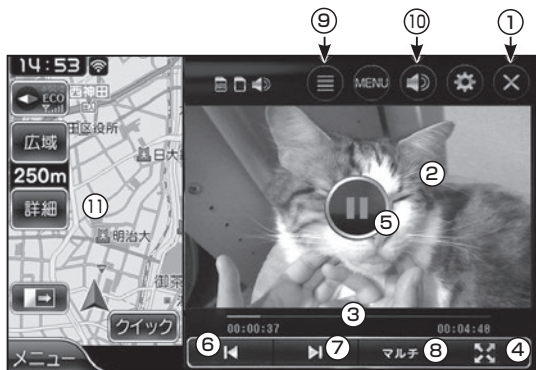
## advice

「**全画面**」をタッチすることでも同じ動作を行うことができます。



# 動画の使い方

## 2画面分割（動画とナビを同時に表示する）機能の説明



### ① 動画終了

動画の再生を終了します。

### ② 動画画面

動画の画面が映ります。

### ③ トラックバー

進行時間や総合時間を表示します。

### ④ 全画面

動画が全画面で表示されます。

### ⑤ 再生 / 一時停止

再生中画面をタッチする、一時停止 / 再生ボタンが中心に現れ、こちらをタッチすることで再生 / 一時停止ができます。  
(一時停止 / 再生ボタンは約 5 秒ほどで消えます。)

### ⑥ 前の動画に移動

1 度タッチすることにより 1 つずつ前の動画に戻ります。

### ⑦ 次の動画に移動

1 度タッチすることにより 1 つずつ次の動画に進みます。

### ⑧ マルチ

他の画面でも動画の音声のみを楽しめます。

※「ナビ」「メインメニュー」「画面設定」のみ対応しています。その他のアプリケーションを起動すると動画が止まります。

### ⑨ 再生リスト

再生できるデータのリストが表示されます。

### ⑩ 音量スイッチ

音量の調節をします。

### ⑪ ナビ画面

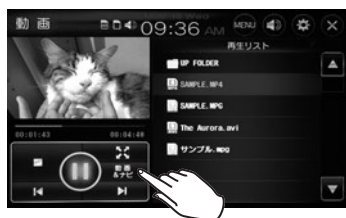
ナビの画面が映ります。

# 動画の使い方

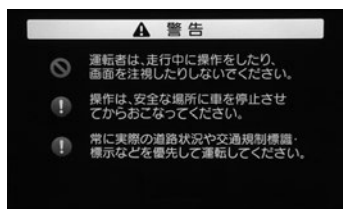
## 2画面分割（動画とナビを同時に表示する）

「動画」と「ナビ」を二画面で表示します。

1 「動画&ナビ」をタッチします。



2 ナビソフトが起動します。



3 ナビソフトが起動し、動画とナビが2画面分割で同時表示されます。

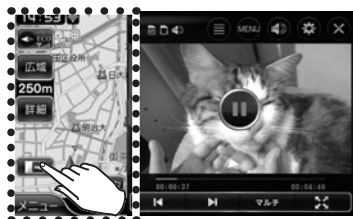


## マルチモードでナビと動画を楽しむ

ナビを全画面表示にして、動画の音声のみをお楽しみいただけます。

※ナビの音声案内時は音声ミュートになります。

1 ナビの「全画面表示ボタン」をタッチします。



2 ナビが全画面表示になり、バックで動画の音声が流れます。



## advice

「マルチ」をタッチすることでも同じ動作を行うことができます。



ナビ全画面から2画面分割に戻る説明は付属の「地図ソフト取扱説明書」をご覧ください。

# 写真の使い方

## 機能の説明



### ① 写真終了

写真を終了します。

### ② 写真画面

写真の画面が映ります。

### ③ フォトリスト

データのリストが表示されます。

### ④ 写真タイトル表示

再生している写真のタイトルを表示します。

### ⑤ 前の写真を見る

1度タッチすることにより1つずつ前の写真に戻ります。

### ⑥ 次の写真を見る

1度タッチすることにより1つずつ次の写真に進みます。

### ⑦ スライド

スライドショーを開始します。

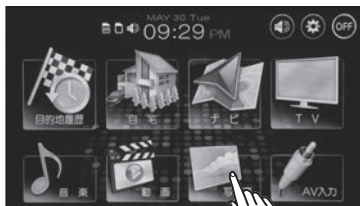
### ⑧ 全画面

写真が全画面で表示されます。

## 写真の起動

1

メインメニュー画面で「写真」を起動します。



2

起動しました。



# 写真の使い方

## 写真の再生

- 1 「見たい写真」を再生リストからタッチします。



- 2 写真が表示されます。



## 次の写真を見る／前の写真を見る

- 1 「次の写真を見る」をタッチすると次の写真に進みます。



- 2 「前の写真を見る」をタッチすると前の写真に戻ります。



# 写真の使い方

## スライドショー

- 1 「スライド」をタッチするとスライドショーが始まります。



- 2 フォトリストの上から順番に写真が表示されます。



### advice

※画像データが重い場合、表示に時間がかかる場合があります。

## 写真を全画面で見る

- 1 「写真画面」をタッチします。



- 2 全画面になった後、解除したい場合は「×」をタッチします。



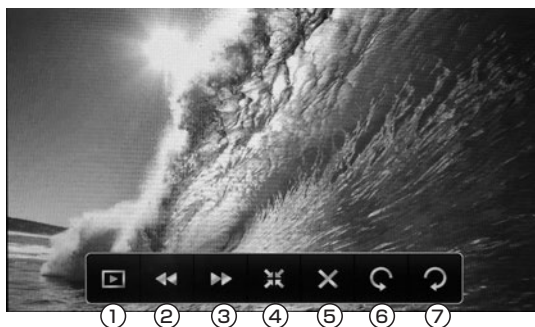
### advice

※画面をタッチする事でメニュー表示を消したりつけたりできます。



# 写真の使い方

## 写真全画面表示 機能の説明



### ①スライド

スライドショーを開始します。

### ②前の写真を見る

1度タッチすることにより1つずつ前の写真に戻ります。

### ③次の写真を見る

1度タッチすることにより1つずつ次の写真に進みます。

### ④画面サイズ

サイズが小さい写真や比率が違う写真を画面サイズに拡大して表示します。

### ⑤写真全画面終了

写真全画面表示を終了します。

### ⑥写真左回転

90°ずつ写真を左回転します。

### ⑦写真右回転

90°ずつ写真を右回転します。



# 写真の使い方

## 写真を画面サイズに合わせる

サイズが小さい写真や比率が違う写真を画面サイズに拡大して表示します。

1 「画面サイズ」をタッチします。

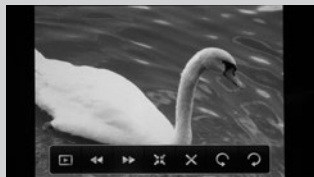


2 画面サイズに拡大されました。

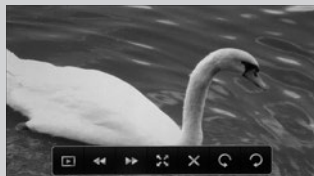


## advice

比率が違う画像も拡大できます。



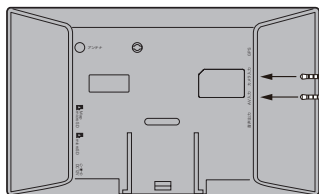
画面全体のサイズに合わせて横幅が拡大表示されます。



# AV 入力

## AV 入力端子の説明

### 本機背面



カメラ入力

3.5mm4 極ミニプラグケーブル  
オプション品 「OP30 カメラケーブル」

AV 入力

3.5mm4 極ミニプラグケーブル  
オプション品

「OP16 AV ケーブル (RCA 端子 オスタイフ)」

「OP29 AV ケーブル 2 (RCA 端子 メスタイフ)」

AV 入力、カメラ入りに接続するコードは、弊社オプション品をご購入ください。

※端子部が狭く特殊なため、市販の AV ケーブルでは接続できない場合がございます。

## AV 入力

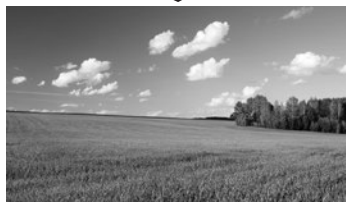
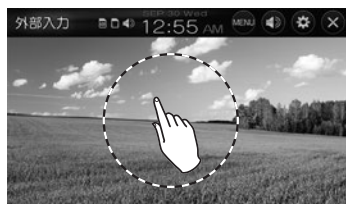
「AV 入力」をタッチします。



- 外部機器からの映像を表示します。外部機器が連結されていない場合は、何も表示されません。

## AV 入力画面の設定

- 画面をタッチまたは、約 4 秒程たつと上面のボタン類が消えます。また、再度画面にタッチすると再度現れます。



## カメラ入力

- バックカメラ信号が入力されると自動でバックカメラ画像に切り換わります。
  - バックカメラ信号の入力が切断されると、元の画面に戻ります。
- ※バックカメラの取り付けについては、専門業者にご依頼ください。



# 設定

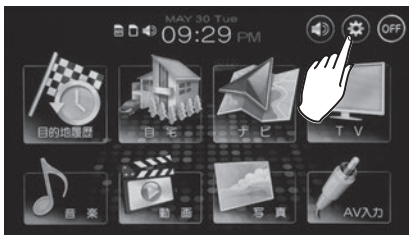
設定の説明	60
TV 設定	61
音楽設定	61
動画設定	62
機能設定	62
明るさ設定	63
環境設定	63

# 5

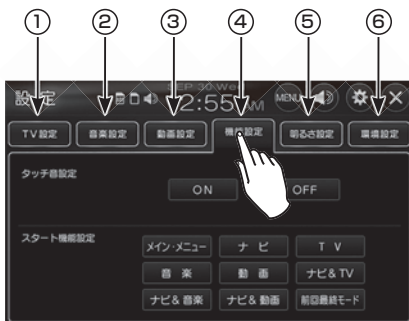
# 設定

## 設定の説明

1 右上の  をタッチします。



2 下記のような設定項目が現れます。  
タッチすると下記の設定が行えます。



### ① TV 設定

テレビの設定をします。(→ 61 ページ)

### ② 音楽設定

音楽の設定をします。(→ 61 ページ)

### ③ 動画設定

動画の設定をします。(→ 62 ページ)

### ④ 機能設定

タッチ音の ON/OFF、スタート機能の設定をします。(→ 62 ページ)

### ⑤ 明るさ設定

画面の明るさの設定をします。(→ 63 ページ)

### ⑥ 環境設定

初期化、タッチ修正、アップデートの設定とサポートリンクへのアクセス。(→ 63 ページ)

## advice

※右上の「×」印をタッチすると画面が閉じます。

# 設定

## ① TV 設定

TV のスキャン設定と、警告画面表示設定を致します。

### 1 スキャン設定

TV を見ている際に電波状況が悪く「受信感度：微弱」で映像が見れなくなった際、自動でチャンネルスキャンをします。

自動スキャンを選ぶと「受信感度：微弱」の状態から自動スキャン開始までの時間を選べます。

(1分/3分/5分)



### 2 警告画面表示設定

TV を起動する際に出る警告画面表示を消す事ができます。



運転者によるテレビの視聴及び操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

## ② 音楽設定

音楽のリピート設定、シャッフル設定、曲調設定ができます。

### 1 リピート設定

音楽のリピートなし/1曲のみリピート/全曲リピートが選べます。



### 2 シャッフル設定

音楽のシャッフルを する / しない を選ぶ事ができます。



### 3 曲調設定

ノーマル/クラシック/ポップ/ロック/ジャズの曲調から選べます。



# 設定

## ③ 動画設定

動画の警告画面表示設定と字幕設定を致します。

### 1 警告画面表示設定

動画を起動する際にはじめに出る警告表示を消す事ができます。



**!** 運転者による、動画の視聴及び操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

### 2 字幕設定

字幕のあり/なしと文字の大きさを3段階で変更できます。



## ④ 機能設定

タッチ音のON/OFFやスタート時の指定プログラムの設定ができます。

### 1 タッチ音設定

タッチ音のON/OFFの設定ができます。



### 2 スタート機能設定

電源ONの際に指定したプログラムから始まります。



### advice

※前回終了モードに設定すると、電源OFFの直前に動作していたプログラムから起動します。

# 設定

## ⑤ 明るさ設定

画面の明るさを調整します。

### 1 日中の時間設定

夏、冬の日中の時間を設定します。

夏季：4月～9月

冬季：10月～3月

### 2 昼間の明るさ設定

昼間の画面の明るさを設定します。

### 3 夜間の明るさ設定

昼間の画面の明るさを設定します。

夜間と昼間の明るさを同じにする場合は OFF を選択します。



## ⑥ 環境設定

初期化、タッチ修正、アップデート、サポートリンクへのアクセスを行います。



### 1 初期化

「初期化」をタッチして「はい」をタッチすると、再起動して出荷状態に戻ります。

#### advice

※システム設定の初期化です。ナビの登録情報は初期化されません。ナビデータの初期化については付属の「地図ソフト取扱説明書」を御覧ください。

### 2 タッチ修正

画面のタッチ位置の補正をします。

「タッチ修正」をタッチして「はい」をタッチします。

スタイラスペン（別途ご用意ください）で「+」の中心を1秒ほどタッチします。「+」が移動したら同じように「+」の中心を1秒ほどタッチしてください。



「新しい修正内容を設定しました。」と表示が出たら、画面をタッチしてください。新しい設定内容が反映されます。



# 設定

## 3 アップデート

システムウェアのアップグレードの際に  
使用します。

Map micro SD カードにシステムウェアをコ  
ピーして本機の Map micro SD カード挿入口  
に差し込んで、画面のタッチ位置の補正をし  
ます。

【**タッチ修正**】をタッチして【**はい**】をタッチ  
します。

### advice

※アップグレードの際は、必ずアップグ  
レードの際の注意事項を確認の上、行っ  
てください。

# 付録



お手入れについて	66
故障かな！？	67
仕様	69

# 6

# お手入れについて

## 本機・液晶画面のお手入れ

- 本機の電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロス等の柔らかい布で優しく拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除光液、アルコール類などは、使用しないでください（ケースや塗装が変質するおそれがあります）
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 車載用吸盤スタンドのお手入れ

吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下します。吸盤と吸盤ベースの汚れを取り除いてください。

### ■吸盤（吸着面）

- スポンジ（市販品）に十分に水を含ませて、なでるようにふいてください。（水分が不足していると、汚れが落ちなかったり、吸着面が傷つきます）

- 吸盤は完全に乾くまでに時間がかかりますが、自然乾燥させてください。（タオルやティッシュペーパーなどでふくと繊維が付着します）

※吸盤表面に繊維・ゴミやホコリが付着すると接着能力が著しく低下して落下の原因になります。

### ■吸盤ベース（設置面）

- 水や市販のクリーナーなどで表面の汚れ（ごみや油など）をきれいにふき取り、湿気を乾かしてください。

- 吸盤ベース（設置面）に吸盤の跡が残る場合がありますが、性能には問題ありません。中性洗剤で吹き取ることができます。

※溶剤の成分は、商品のラベル表示などでご確認のうえ、注意書きに従ってご使用ください。

- ダッシュボードに直接吸盤を貼り付けた場合、ダッシュボードの材質や色によっては貼り付け跡が残る場合があります。

## 注意

本機の故障や吸盤の破損、吸着力の低下の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 洗剤は使わない。
- 水洗いしない（特に、端子部分には水がかからないようにしてください）
- 下記のようなスポンジは使わない。
  - ・研磨スポンジ（メラミンスポンジ）
  - ・洗剤などの入ったスポンジ
  - ・表面の硬いスポンジ（たわし状、ネットに入っているなど）

# 故障かな！？

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らない場合は、本誌裏面のお問い合わせ窓口にご相談ください。

## 共通の項目

症状	原因と処置	ページ
TV 画面右上のチャンネル情報が画面から消えない	●チャンネル情報をタッチしてください。	30
電源が入らない	●DC 電源ケーブルが正しく接続されていますか？ ●アクセサリソケットが汚れていたり錆びたりしていませんか？ →汚れや錆を取り除いてください。 (接触不良により発熱し、火災や故障、車輛側のヒューズの断線などの原因になります。)	24
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れた後、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	—
電源が落ちてしまう。	●アクセサリソケットに分配ソケット等をご使用していませんか？ 直接お車のアクセサリソケットに DC 電源プラグを差してご使用ください。	—
TV の映像も、音声も出ない	●車の場所や方向により、受信状態が変化します。 ●B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ ●はじめにチャンネルスキャンを行ってください。	— 18 28/29
本機から音が出ない	●スピーカーマークが×の状態になっていませんか？	15/16
テレビ、音楽、映像の音声が最大にしてもあまり大きくならない。	●システム音量が低い設定になっている可能性があります。システム音量を高く設定してください。	16

# 故障かな！？

## 地上デジタル放送項目

症状	原因と処置	ページ
映像や音が出ない または、ときどき出 なくなる 映像が静止するまた は、ときどき静止す る	<ul style="list-style-type: none"><li>●車のある場所や方向により受信状態が変化します。</li><li>●車輻の搭載機器 ※ 1 の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。</li></ul> <p>※ 1、電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機、オートロック、車載モニター、アマチュア / 業務用無線など。</p> <p>※ 2、自動車 / バイク / 高圧線 / ネオンサインなどの近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。</p>	— —
地上デジタル放送 が受信できない	<ul style="list-style-type: none"><li>●車のある場所は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ →地上デジタル放送は、地理的や建物などで受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。</li><li>●電波の弱い地域では、付属のロッドアンテナのみでは受信が困難な場合がございます。受信感度が悪い場合はオプション品の「OP18 プリントアンテナ」をご購入ください。</li></ul>	— 23
地上デジタル放送 が1～3局だけ受 信できない（また は受信しにくい）	<ul style="list-style-type: none"><li>●独立テレビ局を受信していませんか？ →独立テレビ局は決められた地域への放送を行っています。そのため、広域放送局（テレビ系列局）よりも小さな出力で放送電波を発信している場合や、違う電波塔で放送電波を発信していることがあります。</li></ul>	—
番組が勝手に切り 換わる （走行時や受信が 不安定なとき）	<ul style="list-style-type: none"><li>●フルセグとワンセグを切り換える受信モードを「自動」にしていませんか？ →地上デジタル放送とワンセグは、同じ放送局でも複数の番組を送ることができることから、受信モードを自動に切り換えたとき、地上デジタル放送とワンセグの番組が異なる場合があります。</li><li>→2008年4月から、地上デジタル放送が1番組しか映像を送っていない場合、ワンセグは異なった放送を行う場合があります。</li></ul>	31

# 仕様

品番	RQ-E817PVF
ディスプレイ	8V型 LEDバックライトTFT液晶
	タッチパネル方式 ワイドVGA(800×480)
TV受信可能放送	地上デジタル(フルセグ+ワンセグ自動切り替え)
	miniB-CASカード(付属)
TVアンテナ	背面ロッドアンテナ × 2本付属
マップソフト	ゼンリン地図データ(micro SD 16GB)
使用電源	DC12V-24V(マイナスアース車専用)
消費電力	10W以下
動作温度範囲	0°C~50°C
micro SDカード	micro SDHCタイプ対応(32GBまで)
スピーカー	MAX 2W
AV入力	3.5mm4極ミニプラグ
カメラ入力	3.5mm4極ミニプラグ
音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1
製品寸法	203(W)×124(H)×19.5(D) mm
製品重量	約378g(本機のみ)

電話のお問い合わせ

フリーダイヤル：0120-099-355

一般番号（有料）：03-4330-3766

受付：10:00～12:00 / 13:00～17:00（土・日・祝日および弊社指定休業日をのぞく）

メールでのお問い合わせ

e-mail：rqshop.support@naviquest.co.jp

土・日・祝日および弊社指定休業日に頂いたお問い合わせは翌営業日以降のご対応となります。

製品サイト <http://roadquest.naviquest.co.jp>